

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 4 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500091		
法人名	社会福祉法人 たちばな福社会		
事業所名	たちばな苑グループホーム		
所在地	広島県呉市倉橋町14948番地 (電話) 0823-54-1516		
自己評価作成日	令和4年2月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490500091-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年3月30日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

たちばな苑グループホームは広島県の最南端（呉市倉橋町）にあり、温暖で景色の良い自然環境に恵まれたホームです。広い敷地内には特養、デイサービスセンター等が併設され行事クラブ等を一緒に行っています。また、地域の行事にも参加し交流をはかっています。現在はコロナ禍において中止しております。グループ独自では、天気の良い日は散歩に出かけ山羊に餌をあたえたり、四季折々の草花を鑑賞し楽しんでいます。毎月一度は管理栄養士と一緒に入苑者様の希望にそっておやつ作りを行ったり、誕生者がおられる時は誕生会を行っています。健康管理は西亀診療所と毎日連絡をし、早期発見、早期治療に努めております。職員は各担当部屋の整理、整頓、話し掛け等を行い御家族様には近況報告を毎月の「えくぼ」の広報誌にて確認して頂き一人ひとりに寄り添ったケアに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

日々の介護実践をする中で理念でもある、自然環境を活かし家庭的な雰囲気のある楽しい生活、家族が安心できる、地域の方に自慢でき、選んでもらえるようなグループホーム作りを職員全員が意識統一し、一丸となって取り組んでいる。コロナ禍により、外部交流が困難な中で、事業所内で出来る事としてレクリエーションを充実し、利用者と一緒におやつ作りやえくぼ便り（毎月行事・誕生日会の笑顔の写真）を送付するなど、今後も交流が継続出来るよう取り組んでいる。体調変化に迅速に対応出来るよう、早期発見、早期治療に向けて医療機関と連携体制を築いている。ミーティングや日々の業務の中で職員意見や提案が出しやすい、やりがいのある楽しい職場作りに尽力している。

自己評価	外部評価	項目(グループ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念としては、「和顔愛語、福祉は、愛なり、人なり、心なり」を掲げています。又引き継ぎ時に理念を唱和し理念に沿ったケアが出来る様心掛けています。	理念を事業所内に掲示し、朝礼、申し送り時に唱和をしている。施設の職種会議で行動方針を統一し、事業所内で毎月ミーティングや苑長ミーティングを行い「話しかけをして確認する。」「やりがいのある楽しい職場作り」を意識統一し、共有して日々介護の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染防止のため地域の行事等なく面会制限となり、運営推進会議も開催できない状況ですが、苑の広報「たちばな苑便り」は地域への配布を行い挨拶や情報交換等行い、地域の一員として参加しています。	地域の祭りや体育祭、イベント行事など通じて地域との交流を行ってきた。コロナ禍で開催が困難な中で広報誌の配布や天気の良い日には近隣の神社や散歩コースで出会った地域の方との挨拶など、出来る範囲内で地域の一員としての情報交流を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	買い物やドライブに出かけたりしていましたが、現在はコロナ禍において中止して職員が代行して実施しております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今年度はコロナ禍のため、運営推進会議の開催はできておりません。しかし、取組等を報告したり、利用者様と一緒に行事を楽しんで頂きアドバイスを受け、質の向上に努めています。	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、構成員参加の運営推進会議は中止となり、状況報告、行事報告、えくぼ便りの送付を行っている。今後は資料送付に留まらず、意見交換の場となるよう、より多くの情報発信と家族との情報共有が出来るよう取り組む考えである。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議が開催されず、毎回資料作成し送付させていただきました。	運営推進会議の資料の送付、事業所への問い合わせや地域包括支援センターからの紹介、事業所からの困り事、問題点など、日頃から連携を密に取れるよう協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	併設特養の勉強会に参加し、身体拘束の無いケアを心がけています。玄関の施錠は必要な時のみ時間を決めて行っています。委員会で身体拘束利用者の検討を行っています。	身体拘束委員会を設置し、法人全体で3ヶ月に1回行っている。法人全体で年2回、事業所では毎月勉強会を開催し、身体拘束をしないケアを実践している。日中は玄関は施錠を行わず、職員体制や防犯の為に家族の同意を得て夜間のみ施錠する事もある。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	併設特養の勉強会に参加しています。虐待が見過ごされることがないように注意し、小さな事から防止に努めています。拘束とともに苑内勉強会も行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	併設特養の勉強会に参加しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に十分に説明し、質問にはわかりやすく丁寧に対応する事を心がけています。入居前はご本人だけでなく家族の心配や不安も大きいため、できるだけ心配不安を解消し入居できるよう対応しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置しています。また電話でご家族のご意見をお聞きしながら、解決し納得して頂いています。	担当職員がコメントにて日頃の様子を便りで報告している。便りの中に家族の意見や要望を聞き易くする為にコメント用紙を同封し、送付している。また、電話や年2回(衣替時期)に家族会を開催し、意見や要望を聞く機会を設けている。	

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月一回の職種会議、月一回の苑長とのミーティング、職員での毎月のミーティングを行っています。</p>	<p>法人全体の職種会議や毎月のミーティングにて行事の在り方についての提案やケースワーカーを交えてのアドバイスや働きやすい、やりがいのある環境作りを目指している。年2回の職員アンケートや適宜面談を行う等、聞く機会を設けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務目標があり達成にむけて主任が指導したり職員同士でアドバイスしたりして、やりがいのある職場を目指しています。コロナ禍においていかにモチベーションを保てていけるかも考えて取り組んでいます。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の力量に応じた研修の機会を確保し法人全体で取り組んでいます。又資格修得の促進にも取り組んでいます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修を通して同業者との意見交換の機会を持ち、課題の見直しをしてケアの質の向上に努めています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>まず施設の見学相談時に不安や要望などを確認し把握したうえで、入居申込や事前訪問を行い、入居環境を整えるようにします。本人、家族とのコミュニケーションを大切に安心して入所できるようにします。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	本人、家族の心配や不安、要望等を傾聴し対応しています。入所生活に入り、うまく馴染めるかに重点を置き、担当ケアマネージャー等からも情報を収集しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、家族、看護師、ケアワーカー、担当ケアマネージャー、サービス事業所と連携を持ち対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	グループホームであるため、入所者の残存機能を生かし、掃除、食事の準備、片付け、洗濯物たたみ、クラブ、散歩等と一緒に本人の出来る事をしてもらい張りのあるその人であった支援をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	以前は、面会時にご利用者、ご家族、職員も入り話をよく聞き、お互いの理解を深めていましたが、コロナ禍のため行えてません。必要に応じて電話対応を行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	併設特養の行事、クラブ参加、地域の行事、買い物、ドライブ等に参加して顔馴染みの人達と交流を図っていましたが、コロナ禍のため中止しております。又、生活環境が変わらないように家庭で使っていた寝具等を使用しています。また各入所者の思い出話や過去の話は傾聴するようにしています。	新型コロナウイルス感染防止対策の為、面会、外出自粛の中で両ユニット合同で一緒に歌を唄ったり、天気の良い日には近隣の神社に散歩に出かけ、出会った人と挨拶を交わすなど関係継続に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の性格、行動を把握しより良い関係作りに努めています。共同生活の場、リビングで食事、おやつ、誕生会、レクリエーション、体操等しながら利用者様同士の交流を図っています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	案内状を出しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしさを精一杯引き出すように生活歴、対話を密にしたり、個別ケアに努めています。暮らしの中から得られる情報をケアにつなげ利用者主体の暮らしを支援しています。	利用開始前の生活歴や日々生活する中で利用者の思いや趣味などその人らしさを把握し、個々の思いに沿った支援をしている。趣味の編み物や習字など個別ケアを実践している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族、居宅サービス事業所と連携を取り、これまでの生活歴や経過、人物像等の情報を収集し職員間で共有し経過などに努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの日誌に毎日の状況を記録しています。出来る事、出来た事は継続できるように話しかけています。又、体調変化の早期発見に努めています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人、家族、職員、管理者などで話し合い本人が望むことや残存機能の維持向上を図りながら最良のケアができるように計画をたてています。	利用者の想いや家族の意向を確認し、職員、管理者の意見やアイデアを反映し、集団レク、体操レクなど生活リズムの維持向上に向けた介護計画書を作成している。毎月のモニタリングにて振り返り、現状に即した介護計画書を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入所者の日々の身体的、精神的状況や様子、状態、生活状況を日誌、引継ぎノート個別記録に記入しミーティングを行い検討し計画を見直し実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	コロナ禍で併設施設のクラブ、行事に参加することが出来ませんが、現在は生活リハビリ訓練、グループホームでの①②合同で誕生会、おやつ作り、レクリエーション等で利用者同士の交流を図り楽しんで頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	以前は、運営推進会議を通じて民生委員の協力を得たり、消防署の立会いのもとで二か月一回防火訓練を行っていましたが、現在はできていません。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	早期発見、早期治療に努め、かかりつけ医の診断を定期的に受け適切な治療を行っています。	協力医から週1回の訪問診療や併設特別養護老人ホームの看護師との連携を図り、健康面や医療面の協力体制を整え、何かあれば迅速に対応している。他の病院受診は家族の協力をお願いしている。	

自己評価	外部評価	項 目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医の看護師、緊急な場合も医師看護師が対応できるよう支援しています。本人、家族の希望を聞き受診の支援を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した時は医療機関に情報を提供し、退院が決まればカンファレンス情報を提供してもらい退院後のケアに備えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご利用者、ご家族にとって最善な終末期ケアが出来る様、かかりつけ医と連携を図りながらご家族、職員と話し合い対応について検討しています。	契約時に終末ケアについて説明し同意の確認を行っている。状態変化に応じて家族と話し合いを重ね、医師、看護師、医療機関と連携を図りながら、利用者、家族にとって最善の支援となるよう、取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	併設施設の勉強会に参加し、応急処置、初期対応に取り組んでいます。必要に応じて職員を集めて知識・技術の習得に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域の消防署の指導のもと併設施設と合同訓練を行っています。年一回の夜間訓練は地域の消防団にも参加してもらって行っていましたが、コロナ禍で今は出来ていません。防潮堤の設置で高潮等の災害にも備えています。	2ヶ月に1回の防災訓練を実施している。土砂災害時の避難の流れ、非常時対応、避難方法、避難経路など防災意識を高めるようマニュアルを整備している。年1回地域消防団参加にて夜間想定訓練を行っている。災害時に備えて水など備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	認知症であっても入所者一人ひとりの人格を尊重することは基本です。入所時にはプライバシー保護についてオリエンテーションを行っています。入所者の尊厳を守るため生活歴を把握し特に言葉使いに配慮し対応しています。	一人ひとりの生活歴を把握し、人格尊重を基本として業務目標「話しかけをして確認する」、ケア目標を共有して個人にあった言葉かけ、声掛けを実践している。週1回チェックシートにて振り返り、不適切ケアにならないよう取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常にコミュニケーションをもちご利用者の言葉を傾聴し思いをしっかりくみ取る。わかりやすく工夫した話し掛けを行い自己決定出来るようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者の性格、行動等を把握し、より良い関係作りに努めています。したい事を体調に合わせて個々のペースで出来るように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	以前は併設施設に来られる美容院に行かれていましたが、現在は美容師の経験のある職員がカットをしています。又希望に沿った服を着て頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	年一回の嗜好調査で好みを把握し献立に生かしています。食事の準備、片付け等は出来る人に手伝って頂いています。	食事は併設特別養護老人ホームの厨房より届けられ、配膳の準備など職員と一緒にしている。年2回嗜好調査や行事食、おやつ作り、朝のパンをご飯に変えたり、刻み食など食べやすい形態に変更するなど食事を楽しむ工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目(グループ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>体調を崩された時や食欲不振の時には好きな物を提供しています。又主食を粥にしたり、副食を刻み等に行っています。定時以外の水分補給の話し掛けや、水分摂取量の少ない方には随時色々な飲み物を提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後歯磨き、うがいを個別に行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録をとり一人ひとりの排泄状況を把握し、トイレの話し掛け誘導を行いながら自立に向けて支援しています。</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握し、個々に合った声掛け、誘導を行い、日中はオムツを外し、トイレに座っての排泄を基本としている。夜間はオムツ使用の利用者もいる。足元センサーマットを使用したり、トイレ誘導の声掛けも行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の食事、水分摂取量に注意しながら散歩や体操の話し掛けを行い運動不足解消に努めています。医師の指示により服薬も行っています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご利用者の状況に応じてリフト浴、シャワー浴をする等しています。入浴日はありますがご利用者のペースに合わせて個々に対応しています。</p>	<p>週2回の入浴が基本だが、一人ひとりの状態によりシャワー浴、リフト浴など個々のペースで負担のないよう、手すりなど設置して安全に入浴出来るよう支援している。又、入浴日以外にも足浴を週2回、季節にはゆず湯やレモン湯など楽しむ事が出来るよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一人ひとりの個室を用意し、自 宅から馴染みの寝具等を持ち込 んで頂き自宅に近い環境で休 んで頂かれるよう自由に自分 のペースで過ごして頂いてま す。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>医師に指示、説明を引き継ぎノ ートに記入して確認しています。 症状の変化等については医師、 看護師と連携を図っています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>ご利用者の生活歴に応じて習 字、お茶、体操、絵等のクラブ に参加する機会を作る。又洗濯 物たたみ、散歩、園芸、おやつ 作り、動物とのふれあい等好 みに応じて行っています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には散歩を行い 季節の草花等に触れたりする機 会を作っています。ドライブを 兼ねた月二回の買い物は現在 はコロナ禍で中止しています。</p>	<p>コロナ禍でドライブや買物など の外出支援は出来てないが、敷 地内での外気浴や神社までの散 歩や散歩コースの木々や草花 を見たり、触れる事で季節を 感じてもらえるよう工夫して いる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>以前は月二回の買い物の時は ご自分で支払いをして頂いて ましたが現在は行っていません 。お好きな物をお聞きして職 員がおやつ等購入しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>公衆電話を設置し何時でも電話が出来るようにしています。ご家族との連絡ノートを作成し連絡を密にしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居心地の良い落ち着いた雰囲気でもごせるよう自然環境を取り入れ玄関には季節の花を植えたりして季節感を感じられる様工夫しています。リビングは日当たりが良く清潔で明るい空間になっています。</p>	<p>安全に移動出来るよう広々としたスペースで机や椅子などが配置されている。空調管理や湿度、温度、換気など新型コロナウイルス感染予防対策の配慮をしている。季節の花や利用者作品の展示などゆっくりと居心地良く過ごせるよう工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食堂は何時でも気軽に過ごせる自由空間になっています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時には本人の使い慣れた物、大事にされていたもの等を持参して頂き居心地良く過ごせるようになっています。</p>	<p>ベッド、椅子、クローゼット、エアコンなど設置されている。自宅で使い慣れた物、馴染みの物、グループホームで過ごす上で必要な物など持参し、中には遺影やリハビリ自転車など持参し、自宅での暮らしに近づけるよう工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーになっており手摺を設置しトイレも随所に設置してトイレ表示も分かりやすく、話し掛けて自立を促し安全に利用出来るようになっています。</p>		

V アウトカム項目(グループ1) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>理念としては、「和顔愛語、福祉は、愛なり、人なり、心なり」を掲げています。又引き継ぎ時に理念を唱和し理念に沿ったケアが出来る様心掛けています。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止のため地域の行事等なく面会制限となり、運営推進会議も開催できない状況ですが、苑の広報「たちばな苑便り」は地域への配布を行い挨拶や情報交換等行い、地域の一員として参加しています。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>買い物やドライブに出かけたりしていましたが、現在はコロナ禍において中止して職員が代行して実施しております。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>今年度はコロナ禍のため、運営推進会議の開催はできておりません。しかし、取組等を報告したり、利用者様と一緒に行事を楽しんで頂きアドバイスを受け、質の向上に努めています。</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>運営推進会議が開催されず、毎回資料作成し送付させていただきました。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	併設特養の勉強会に参加し、身体拘束の無いケアを心がけています。玄関の施錠は必要な時のみ時間を決めて行っています。委員会で身体拘束利用者の検討を行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	併設特養の勉強会に参加しています。虐待が見過ごされることがないように注意し、小さな事から防止に努めています。拘束とともに苑内勉強会も行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	併設特養の勉強会に参加しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に十分に説明し、質問にはわかりやすく丁寧に対応する事を心がけています。入居前はご本人だけでなく家族の心配や不安も大きいため、できるだけ心配不安を解消し入居できるよう対応しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置しています。また電話でご家族のご意見をお聞きしながら、解決し納得して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月一回の職員会議、月一回の苑長とのミーティング、職員での毎月のミーティングを行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業務目標があり達成にむけて主任が指導したり職員同士でアドバイスしたりして、やりがいのある職場を目指しています。コロナ禍においていかにモチベーションを保てているかも考えて取り組んでいます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の力量に応じた研修の機会を確保し法人全体で取り組んでいます。又資格修得の促進にも取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修を通して同業者との意見交換の機会を持ち、課題の見直しをしてケアの質の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	まず施設の見学相談時に不安や要望などを確認し把握したうえで、入居申込や事前訪問を行い、入居環境を整えるようにします。本人、家族とのコミュニケーションを大切に安心して入所できるようにします。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	本人、家族の心配や不安、要望等を傾聴し対応しています。入所生活に入り、うまく馴染めるかに重点を置き、担当ケアマネージャー等からも情報を収集しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、家族、看護師、ケアワーカー、担当ケアマネージャー、サービス事業所と連携を持ち対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	グループホームであるため、入所者の残存機能を生かし、掃除、食事の準備、片付け、洗濯物たたみ、クラブ、散歩等と一緒に本人の出来る事をしてもらい張りのあるその人にあつた支援をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	以前は、面会時にご利用者、ご家族、職員も入り話をよく聞き、お互いの理解を深めていましたが、コロナ禍のため行えてません。必要に応じて電話対応を行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	併設特養の行事、クラブ参加、地域の行事、買い物、ドライブ等に参加して顔馴染みの人達と交流を図っていましたが、コロナ禍のため中止しております。又、生活環境が変わらないように家庭で使っていた寝具等を使用しています。また各入所者の思い出話や過去の話は傾聴するようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の性格、行動を把握しより良い関係作りに努めています。共同生活の場、リビングで食事、おやつ、誕生会、レクリエーション、体操等しながら利用者様同士の交流を図っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	案内状を出しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしさを精一杯引き出すように生活歴、対話を密にしたり、個別ケアに努めています。暮らしの中から得られる情報をケアにつなげ利用者主体の暮らしを支援しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族、居宅サービス事業所と連携を取り、これまでの生活歴や経過、人物像等の情報を収集し職員間で共有し経過などに努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの日誌に毎日の状況を記録しています。出来る事、出来た事は継続できるように話しかけています。又、体調変化の早期発見に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人、家族、職員、管理者などで話し合い本人が望むことや残存機能の維持向上を図りながら最良のケアができるように計画をたてています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入所者の日々の身体的、精神的状況や様子、状態、生活状況を日誌、引継ぎノート個別記録に記入しミーティングを行い検討し計画を見直し実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	コロナ禍で併設施設のクラブ、行事に参加に参加することが出来ませんが、現在は生活リハビリ訓練、グループホームでの①②合同で誕生会、おやつ作り、レクリエーション等で利用者同士の交流を図り楽しんで頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	以前は、運営推進会議を通じて民生委員の協力を得たり、消防署の立会いのもとで二か月一回防火訓練を行っていましたが、現在はできていません。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	早期発見、早期治療に努め、かかりつけ医の診断を定期的に受け適切な治療を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医の看護師、緊急な場合も医師看護師が対応できるよう支援しています。本人、家族の希望を聞き受診の支援を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した時は医療機関に情報を提供し、退院が決まればカンファレンス情報を提供してもらい退院後のケアに備えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご利用者、ご家族にとって最善な終末期ケアが出来る様、かかりつけ医と連携を図りながらご家族、職員と話し合い対応について検討しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	併設施設の勉強会に参加し、応急処置、初期対応に取り組んでいます。必要に応じて職員を集めて知識・技術の習得に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域の消防署の指導のもと併設施設と合同訓練を行っています。年一回の夜間訓練は地域の消防団にも参加してもらって行っていましたが、コロナ禍で今は出来ていません。防潮堤の設置で高潮等の災害にも備えています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	認知症であっても入所者一人ひとりの人格を尊重することは基本です。入所時にはプライバシー保護についてオリエンテーションを行っています。入所者の尊厳を守るため生活歴を把握し特に言葉使いに配慮し対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常にコミュニケーションをもちご利用者の言葉を傾聴し思いをしっかりくみ取る。わかりやすく工夫した話し掛けを行い自己決定出来るようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者の性格、行動等を把握し、より良い関係作りに努めています。したい事を体調に合わせて個々のペースで出来るように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	以前は併設施設に来られる美容院に行かれていましたが現在は美容師の経験のある職員がカットをしています。又希望に沿った服を着て頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	年一回の嗜好調査で好みを把握し献立に生かしています。食事の準備、片付け等は出来る人に手伝って頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>体調を崩された時や食欲不振の時にはお好きな物を提供しています。又主食を粥にしたり、副食を刻み等に行っています。定時以外の水分補給の話し掛けや、水分摂取量の少ない方には随時色々な飲み物を提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後歯磨き、うがいを個別に行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録をとり一人ひとりの排泄状況を把握し、トイレの話し掛け誘導を行いながら自立に向けて支援しています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の食事、水分摂取量に注意しながら散歩や体操の話し掛けを行い運動不足解消に努めています。医師の指示により服薬も行っています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご利用者の状況に応じてリフト浴、シャワー浴をする等しています。入浴日はありますがご利用者のペースに合わせて個々に対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	一人ひとりの個室を用意し、自 宅から馴染みの寝具等を持ち込 んで頂き自宅に近い環境で休 んで頂かれるよう自由に自分 のペースで過ごして頂いてま す。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	医師に指示、説明を引き継ぎノ ートに記入して確認しています。 症状の変化等については医師、 看護師と連携を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	ご利用者の生活歴に応じて習 字、お茶、体操、絵等のクラブ に参加する機会を作る。又洗濯 物たたみ、散歩、園芸、おやつ 作り、動物とのふれあい等好 みに応じて行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。	天気の良い日には散歩を行い 季節の草花等に触れたりする機 会を作っています。ドライブを 兼ねた月二回の買い物は現在 はコロナ禍の中中止していま す。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	以前は月二回の買い物の際は ご自分で支払いをして頂いて ましたが現在は行っていません 。お好きな物をお聞きして職 員がおやつ等購入しています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	公衆電話を設置し何時でも電話が出来るようにしています。ご家族との連絡ノートを作成し連絡を密にしています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居心地の良い落ち着いた雰囲気でも過ごせるよう自然環境を取り入れ玄関には季節の花を植えたりして季節感を感じられる様工夫しています。リビングは日当たりが良く清潔で明るい空間になっています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂は何時でも気軽に過ごせる自由空間になっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所時には本人の使い慣れた物、大事にされていたもの等を持参して頂き居心地良く過ごせるようになっています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部はバリアフリーになっており手摺を設置しトイレも随所に設置してトイレ表示も分かりやすく、話し掛けて自立を促し安全に利用出来るようになっています。		

V アウトカム項目(グループ2) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 たちばな苑グループホーム

作成日 令和4年5月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	コロナ禍で会議が中止となり状況報告の便りの送付のみになっている。	より多くの情報発信とご家族との情報が共有できるよう取り組み意見がわかるようにする。	ご家族にアンケート、グループホームでの情報発信を細かく行う。	随時
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。